



妻西中キャラ めにしちゃん

学び磨き鍛える

正しい判断力とたくましい実践力を
もった妻沼西中生を育む学校

発行 熊谷市立妻沼西中学校
電話 048(588)1361
FAX 048(589)0496
令和8年2月5日
第26号

『熊谷市の魚 ムサシトミヨ～世界で熊谷市だけに生き残るキセキの魚～』

校長 清水利浩

ある日の新聞記事を紹介します。

「忍城、古代蓮、寄居、希少な淡水魚『ムサシトミヨ』、これらの言葉を聞いて星空を思い浮かべる人は、かなりの天文ファンだろう。すべて太陽系を周回する小惑星に名付けられた名前だ。」



太陽系には地球などの惑星の他に、

小惑星が100万個以上あるという。小惑星は、自分から光を出さないために見つけるのは難しい。こうした小惑星を最初に発見した人がその星に名付けられる。そして、「ムサシトミヨ」という名前がついた小惑星がある。

ムサシトミヨという魚は、体長3.5～6cmの小さな魚です。水温10～18度くらいのきれいで冷たい湧き水があり、水草が茂る川に生息する冷水魚です。

埼玉県の魚であり、**熊谷市**の魚です。ムサシトミヨは、環境省の絶滅危惧ⅠAに分類され、埼玉県の天然記念物でもあります。この**ムサシトミヨ**は、**世界で熊谷市だけ（元荒川の源流部）に生息しています。**

ちょっと変わった魚で、オスが小鳥のような丸い巣を作ります。その巣にメスが産卵し、孵化すると、オスが子育てをします。外敵から巣を守るため、巣の入り口で常に見張っています。体にうろこがなく、背びれ、腹びれ、尻びれにトゲを持っています。このトゲは、敵から身を守る時などに使うのだそうです。また、胸びれを使って巣に新鮮な水を送り続けます。

埼玉県と熊谷市の魚、キセキの魚である「ムサシトミヨ」は、熊谷市のムサシトミヨ保護センターや羽生市のさいたま水族館で見ること（一般公開）ができます。興味のある人は、行ってみてはいかがでしょうか。

＜参考＞・新聞記事は、読売新聞2026年1月6日 「夜空を見上げて」から抜粋。

・『みんなで守ろう市と県の魚 熊谷市ムサシトミヨ』令和5年3月 ムサシトミヨ保全推進協議会

・写真は、熊谷デジタルミュージアム 熊谷市立江南文化財センターのホームページ「ムサシトミヨコーナー」から

学校生活の様子



【総合的な学習の時間】

3年生が2年生に向けて、修学旅行の説明を行いました。



【生徒保健委員会】

歯科衛生士の先生が、鼻呼吸の大切さについて講話をしてくださいました。



【部活の様子】

新年はじめての部活動。寒さに負けず頑張っていました。



【第4ステージスタート】

各学年の代表が、第4ステージの抱負を発表しました。



【生徒朝会】

給食委員が、調理員のみなさんに感謝の手紙を読みました。



【新入生説明会】

生徒会が、入学予定の児童の皆さんに中学校生活について説明をしました。

※是非、妻沼西中学校ホームページをご覧ください。
右のQRコードから見るができます。

